

入賞	高炉スラグを用いた低炭素型セメントと利用技術の開発
技術開発者	鹿島建設(株) 氏名：坂田 昇
	
受賞にあたって	
<p>本研究は、国立研究開発法人「新エネルギー・産業技術総合開発機構」(NEDO)の助成のもと、建設会社、セメントメーカー、混和剤メーカー、大学の産学が一体となって実施したものです。特にこの技術が広く普及されることを考え、建築・土木の両方の分野で使えるように、竹中工務店と鹿島建設が共同で実用化研究を進めました。また、(株)デイ・シイ、日鉄住金セメント(株)、日鉄住金高炉セメント(株)の高炉セメントメーカー3社と太平洋セメント(株)が、さらに、混和剤メーカーとして竹本油脂(株)が本研究に参画されたことによって、より確実に実用化できたものと考えています。また、東京工業大学の坂井教授に基礎的な研究をして頂いたこともこの技術が確立した大きな要因になっていると思います。高炉スラグの有効利用は、地球温暖化が問題となる中、CO₂の排出を低減するために極めて有効であり、この技術の実用化が高く評価され、国土技術開発賞の入賞を頂いたことは、我々開発者にとって誠に喜ばしいことであり、今後の励みとなります。</p>	
受賞後の動き	
<p>この技術を広く普及するため、土木学会コンクリート委員会に対して、今回の研究成果を組み入れて頂くべく、指針(高炉スラグ微粉末を混和したコンクリート)を改訂する委員会を委託しました。指針改訂によって、この技術が土木分野でも広く使われるようになるものと考えています。</p>	

